

なないろ

nanaïro

なないろの喜びと笑顔を
みなさまにお届けします。



vol.16



photo: 山崎 英二

今号の1枚

西脇巽先生の喜寿を祝う会 (3面掲載)

6月1日アラスカ会館にて行われた職員総会後の懇談会で、西脇巽理事長の関係者の皆様をお招きし、喜寿の盛大なお祝いが行われました。

職員総会

6月1日にアラスカ会館にて社会福祉法人虹の2019年度職員総会が行われました。

職員総会のスローガンは

1. 民医連綱領と歴史の学習の中から、経営・運動・職員育成についての「なんのために、誰のために」を問い直そう。

2. 「医療・介護活動の2つの柱」をまちづくりと結び、人権としての社会保障の運動と平和の課題に取り組もう。

法人ならびに事業所の管理者より前年度の事業活動全般を振り返るとともに、新年度の事業計画について発表があり、今回はスローガンに関わる経営活動や活動の質についての討議が目立ちました。✓



impression impression / 職員の感想 / impression impression

デイサービス虹のひろば新城での内容で「食」に力を入れており、とても素敵だなと思いました。たくさんの部署の特徴を聞いて、たくさんの職場の色(雰囲気)を感じました。

原水爆禁止2018世界大会in広島の報告を聞き原爆の悲惨さを身にしみて感じました。原爆の被害者が高齢になってきている為、私達が受け継いで核兵器廃絶について訴えていく必要があると感じました。

各事業所が予算達成や利用者獲得に向けて、様々な取り組みを行っていることが良く分かりました。地域活動支援センター八甲の「なんでも相談会」等の取り組みが素晴らしいと感じました。

各事業所の取り組みや現状を知ること、チームとして意識共有して課題に取り組む大切さを改めて感じる事ができました。予算等は書面で見っていますが、実際に言葉で聞くと理解がし易かったです。



【手打ち蕎麦】

てうちそば



1 自分で打った蕎麦

先日、雲谷で娘(中学1年生)と蕎麦打ち体験をして来ました。

こね鉢に粉を入れ、水を注ぎながら五本指で素早くかき混ぜ、ダマになったら手で擦り合わせ粉に戻し、また水を入れ固まりにします。それを捏ねながら空気を抜き、伸ばして折り畳んで切って蕎麦が出来上がっていきます。その行程が思った以上に重労働で、娘は汗をかきながら職人のような眼差しで黙々と作業していました。

蕎麦は挽き立て・打ち立て・茹で立てが一番と聞いてはいたものの、実際は見た目にも艶があり、自分たで作った蕎麦ということも相まって格別な美味しさでした！



1 蕎麦を切る娘。眼差しはもはや職人。

ヘルパーステーションはるかぜ主任/桶谷 聖子



西脇巽先生の喜寿を祝う会

その後の懇親会では、西脇巽理事長の関係者の皆様をお招きし、喜寿の盛大なお祝いが行われました。

法人職員のほか西脇巽先生にゆかりのあるさくら病院の元役員、青森保健生協の役員、青森ドクターズ・ヨッチミラー合唱団など100名近くの方が集まり、昔の写真の上映や合唱団有志による合唱など、

多彩な催しで誕生日の当日を祝いました。

参加者からは「ご自分の趣味の時を謳歌されている様子を素晴らしく見ていました。合唱団が素晴らしかった。良い歳の取り方をされていて羨ましい。」「美味しい料理と先生方のステキな歌声に感動しました。」などの感想がありました。

ヘルパーステーションはるかぜ

事務長/山崎 英一

虐待防止委員会

今年度第1回目の虐待防止委員会を5月23日に開催致しました。委員は各事業所の管理者及び法人外の第三者委員も含め11名で構成されています。

委員会では虐待防止に向けた全職員対象

のセルフチェックの設問内容や時期の確認、各事業所の研修計画の取り組み方法、新入職員への教育状況などについて意見交換しました。昨年同様に当法人では身体拘束は行わない事を再確認し、今年度も利用者様の人権と尊厳を守り、やりがいのある職場を目指します。

法人虐待防止委員会 委員長/阿部 雪子

働き方改革学習会

3月25日、社会保険労務士の倉本さんを講師にお招きし育休・産休、働き方改革の学習会を行いました。

今年度より施行される年10日以上の有休休暇が付与される労働者に対して「年5日の年次有給休暇の確実な取得」の義務付けについての取得の方法を詳しく説明していただきました。年次有休休暇は、働く方の心身のリフレッシュを図ることを目的としていま



す。当法人としても、最低年5日の有休を取得できるような職場環境を整えるとともに、各事業所で有休取得の計画的な管理を行いたいと思います。

社会福祉法人虹 本部/中村 千加子



最近ではメバルを釣りました！

釣り



no.14

職員休憩室。

どうも釣られたメバルです。

3年ほど前から漁港での釣りを始めました。

釣りたい魚が釣れた時の瞬間は最高ですが、糸の動きに集中しながらも波の音や風を体感すると心も身体もリラックス出来るので、海で釣り糸を垂らしている時が一番好きな時間です。

初心者で下手の横好きなので釣果は期待できるものではないですが、たまに平舘や三沢でメバルやアジ、サバなど

を釣って帰ることがあります。そんな時は釣った魚を捌いて、焼いたり煮つけたりして食べます。自分で釣った魚は格別な味わいがあるとよく耳にしますが、本当にそう思います。

漁港での釣りは風が吹くと山よりも寒く、天候にとっても左右されたりと辛い時もありますが、私にとって貴重な休日の過ごし方となっています。

地域活動支援センター八甲 所長/佐藤 織恵

●ご意見・ご要望をお待ちしております。

この機関誌に関する、ご意見・ご要望、読者様の俳句・川柳・その他ご趣味などがございましたら、ぜひ下記までお寄せ下さい。



なないろ vol.16 2019年7月発行(次回発行予定 2019年9月) 発行部数/1,000枚 発行責任者/山崎繁喜

発行元/社会福祉法人「虹」 〒030-0131 青森県青森市問屋町1丁目15-10 TEL 017(738) 1133 <http://nijiweb.net/>

配布先/社会福祉法人虹 本部・デイサービス虹のひろば・デイサービス虹のひろば新城・ショートステイ虹の郷・ヘルパーステーションはるかぜ

・居宅介護支援事業所 野いちご・地域活動支援センター八甲・自立訓練所 ほのぼの寮・グループホームあおぞら